

汐干す母の像移設

本校には、国頭校区の尊い歴史を伝えるため、「汐干す母の像」が建てられている。昔、厳しい自然環境の影響(塩害)を受け、米作りに適さない土地であったため、生活の糧として塩作りを行い、その塩と米等を物々交換することを強いられていた。この像は、先人のそのような知恵や努力・苦労を重ねた歴史に敬意を表し、また母が子を想う気持ちを忍ぶために建立された。国頭小学校では今でも授業の一環として、6年生による汐干し体験学習が行われている。

その「汐干す母の像」が二度の移設を経て、行幸啓記念碑の隣に設置された。設置に伴い、10月7日の全校朝会に、本校区出身の先生による「汐干す母の像」の講話が開催された。先人の努力や苦労を詳しく聞いた子どもたちは、先人に対する感謝と誇りの気持ちを十分に感じ取ることができた。

